

# 遊戯王GX～境界線上の デュエリスト～

アスラ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

いきなり神様に『遊戯王GX』の世界に転生させられた俺は、神様特性のオリデツキを使うはめに。まあ、いいんだけどね。

※更新は不定期です。

# 目次

- 1 気が付くとトイレの個室。何故？



# 気が付くとトイレの個室。何故？

気がつくとも見知らぬトイレの個室にいた。

「えっ……どこだココ？」

状況確認の為に首をブンブン振り回した。そんな俺は悪くないはずだ。

「む、ポケットの中に何かが入っているな」

手をつつまみ、中に入った物を取り出す。

それは手紙だった。

『やあ、私は神様だ。突然だが君を遊戯王GXの世界に転生させることになった。理由は、こちら側のミスで君を死なせてしまったからだ。まあ、人間が何人死のうが関係ない……げふんげふん。デッキに関してはこつちの偏見と独断でオリカデッキにした。せいぜい理解して無様なデュエルをしないようにな。ちなみに、今お前がいるところはデュエルアカデミア本校の試験会場だ。筆記試験をとばしてやってデュエル試験からだ。感謝しろよ。神より』

……神様とやら、最後の方でボロが出てるぞ。

まあいい、デッキを完璧に使いこなす為にも確認をするか。

……う、これは!!

「次、受験番号100番!」

「はい!!」

俺の番がやってきた。どうやら、神様はよっぽど主人公に関わらせたいらしい。

「受験番号100番、霧谷湊。よろしくお願いします」

「よろしくね」

相手は感じの良さそうな試験官だ。

「デュエル!!」

「私の先行、ドロー!! 私はジェネティック・ワーウルフを召喚! ターンエンド」

へ?!

いくら攻撃力2000でも、何も効果がないバニラだぜ?

伏せカードも無しなんて、無用心すぎる。

「俺のターン、ドロー!」

よし、いいカードが出た。

「俺は『武蔵の生徒会長兼総長 葵・トリー』を召喚」

武蔵の生徒会長兼総長 葵・トリー

地属性 レベル1

戦士族 攻撃力0 守備力0

効果：1ターンに1度、手札から『武蔵』と名の付くモンスターを特殊召喚できる。

フィールド上にこのモンスター以外の『武蔵』と名の付くモンスターがいる場合、相手はこのモンスターを攻撃対象にできず、効果モンスターの効果、魔法・罠カードの対象にもできない。

『なんだよあの雑魚カード』

『バカだなアイツ。終わったよ』

観客席から嘲笑が聞こえるが無視する。

「俺は『武蔵の生徒会長兼総長 葵・トリー』の効果を発動！1ターンに1度、手札から『武蔵』と名の付くモンスターを特殊召喚できる。俺は『武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト』を特殊召喚！効果でホライゾンの攻撃力と守備力を500アップする！」

武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト

地属性 レベル8

機械族 攻撃力1000 守備力1000

効果：自分フィールド上に『葵・トリー』と名の付くモンスターがいる場合、このモンスターの攻撃力と守備力は500アップする。

武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト

攻撃力1000↓1500 守備力1000↓1500

「そして俺は装備魔法『大罪武装 悲嘆の怠惰』を『武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト』に装備する」

大罪武装 悲嘆の怠惰

装備魔法

効果：このカードは『ホライゾン・アリアダスト』と名の付くモンスターにしか装備できない。このカードを装備したモンスターの攻撃力は2000アップする。このカードを装備したモンスターが攻撃を行った場合、次のターンこのカード装備したモンスターは攻撃できない。

「効果で『武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト』の攻撃力は2000アップする」

武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト

攻撃力1500↓3500

「なんだって!？」

「まだまだ！俺は手札からフィールド魔法『境界線上の走者達』を発動！」



境界線上の走者達

フィールド魔法

効果：このカードは場に『葵・トリー』と名の付くモンスターが存在する場合のみ発動できる。1ターンに1度、自分の手札・デッキから『武蔵』と名の付くモンスターを特殊召喚できる。このカードの効果の発動に対して相手は魔法・罠・効果モンスターの効果を発動できない。フィールド上に『葵・トリー』と名の付くモンスターが存在しない場合、このカードを破壊する。

俺の背後に白い境界線が引かれ、ある者は翼を持ち、ある者は半竜の形をした人影が多数現れた。

「そして俺は『境界線上の走者達』の効果を発動！デッキから『武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト』を特殊召喚する」

背後の人影の一つが動き、境界線を越えた。瞬間、人影は色を取り戻し白の翼を持った少女になった。

武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト

光属性 レベル4

魔法使い族 攻撃力1800 守備力1600

効果：1ターンの1度、ライフポイントを500払うことよって手札・デッキから『武蔵の第四特務 マルガ・ナルゼ』を特殊召喚できる。

「さらに俺は『武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト』の効果発動！ライフを500払うことにより手札から『武蔵の第四特務 マルガ・ナルゼ』を特殊召喚することができる！」

「ま、また特殊召喚するのか……」

あまりの展開に試験官はたじたじになる。

「俺は手札から『武蔵の第四特務 マルガ・ナルゼ』を特殊召喚！」

武蔵の第四特務 マルガ・ナルゼ

閨属性 レベル4

魔法使い族 攻撃力1800 守備力1400

効果：1ターンの1度、ライフポイントを500払うことにより、手札から『武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト』を特殊召喚できる。

境界線の向こう側から、また一人こちら側へやってきた。今度は黒の翼を持った少女だ。

「そして、俺は装備魔法『強化機殻 白嬢・黒嬢』を発動」

強化機殻 白嬢・黒嬢

## 装備魔法

効果：このカードは『マルゴット・ナイト』と『マルガ・ナルゼ』と名の付くモンスターが1体ずつ存在する場合のみ、上記のモンスターに装備できる。装備したモンスターは攻撃力を600アップし、攻撃力が守備力を越えている場合、越えている分ダメージを与えることができる。このカードを発動する為には魔法・罨ゾーンを2つ使用しなければならない。

「効果により『武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト』と『武蔵の第四特務 マルガ・ナルゼ』の攻撃力は600アップする！」

「なに!？」

これで終わりだ!

「『武蔵の姫 ホライゾン・アリアダスト』でジェネティック・ワーウルフを攻撃! 悲嘆の掻き筆り!!」

ホライゾンが持つ悲嘆の怠惰から黒の掻き筆りが放たれ、ジェネティック・ワーウルフを粉碎する。

「ぐっ!!」

試験官LP 4000 ↓ 2500

「これで終わりだ。『武蔵の第三特務 マルゴット・ナイト』と『武蔵の第四特務 マル

ガ・ナルゼ』で一斉攻撃！黒白魔術（ヴァイスシユバルツ）！！」  
「ぐあああッ！！」

試験官LP2500↓0

「よし、勝った！」

ガッツポーズをする。

しかし、その直後に異変に気づく。

歓声が全く聞こえないのだ。

観客席を見ると、全員啞然としていた。

あれ？もしかして、俺やっちゃまったのか？